



遠野市監査委員告示第7号
平成25年7月8日

地方自治法第199条第4項の規定に基づく補助金等の監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員

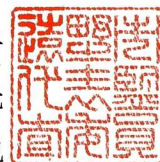
佐藤 サヨ子

遠野市監査委員

佐々木 資光

遠野市監査委員

荒川 栄悦



平成25年度補助金等監査結果報告書(平成24年度支出分)

1 監査の期日及び対象

監査は、平成25年5月29日から6月19日までの間に延べ5日間実施した。なお、事前書類審査は5月24日と27日に実施した。

監査の対象は、平成24年度に支出した補助金等とした。

監査対象の決定については、担当課等に次の条件で資料の提出を求め、提出された747件のうち次表の170件を監査した。

- (1) 1件あたりの金額が少額な補助金については、抽出による監査を行った。また、貸付金等については、少額な利子補給のため今回は監査をしなかった。
- (2) 補助金については、1件の金額又は同一補助金で交付団体が複数のときの総額が50万円以上のもの
- (3) 負担金及び交付金については、50万円以上のもので財政的援助を目的として支出したもの

【監査した補助金等】

期 日	担当課等	補助金等の名称(交付先等)	交付金額
5月29日(水)	商工観光課	遠野市企業立地補助金(ムサン電子(株))	30,620,000円 (142,980,000円)
		遠野市企業立地補助金(大野ゴム工業(株))	112,360,000円 (142,980,000円)
		遠野型観光PR推進委員会負担金	6,309,000円
	連携交流課	で・くらす遠野サポート市民会議負担金	2,226,000円
6月3日(月)	長寿課	遠野市社会福祉法人事業費補助金(社会福祉法人とおの松寿会)	132,089,460円 (242,473,746円)
		遠野市社会福祉法人事業費補助金(社会福祉法人ともしり会)	110,384,286円 (242,473,746円)
	子育て総合支援課	遠野市私立幼稚園運営費補助金(学校法人東北カトリック学園光の園幼稚園)	527,500円 (1,032,500円)
		遠野市私立幼稚園運営費補助金(学校法人岩手キリスト教学園遠野聖光幼稚園)	505,000円 (1,032,500円)
	環境課	岩手中部広域行政組合負担金	11,816,975円
6月5日(水)	農家支援室	遠野市青年就農給付金(8件のうち2件)	3,750,000円 (13,875,000円)
	林業振興課	遠野市国土保全森林対策事業費補助金	24,999,406円
	農業振興課	宮守地域農業拠点施設整備事業費補助金	22,519,830円
		遠野地方病害虫防除推進協議会負担金	2,580,000円
6月17日(月)	畜産振興課	遠野市利用自粛牧草等処理円滑化事業費補助金(4件)	270,989,651円
		岩手県農山村漁村地域自主戦略交付金事業費補助金(社団法人岩手県農業公社)平成23年度繰越分を含む	65,979,000円

期 日	担当課等	補助金等の名称(交付先等)	交付金額
6月19日(水)	都市計画課	遠野市災害被災住宅復旧工事補助金(54件のうち2件)	178,000円 (2,761,000円)
		遠野市生活再建住宅支援事業補助金(88件のうち2件)	857,000円 (26,812,000円)
	生涯学習スポーツ課	遠野市体育協会補助金	8,530,000円
	教務課	遠野市立中学校閉校記念事業運営費補助金(遠野中学校閉校記念事業実行委員会)	1,429,500円 (8,346,000円)
		遠野市立中学校閉校記念事業運営費補助金(宮守中学校閉校記念事業実行委員会)	1,080,000円 (8,346,000円)

※()は全体金額

2 監査の実施率

項目	補助金	負担金 交付金	貸付金等	合計
交付件数 (各課等の報告件数)	593件	63件	91件	747件
監査件数	166件	4件	0件	170件
監査実施率	28.0%	6.3%	0.0%	22.8%

3 監査の視点

補助金等に係る交付決定の事務及び支出事務の執行状況に関し、次の手順及び視点で監査を行った。

- (1) 監査対象項目に係る諸帳簿等の提出を求め、担当職員等から説明を聴取した。
- (2) 法令に違反していないか、規則や要綱等に基づいて処理されているか、金員の用途は交付の趣旨に合致しているか、援助による効果はどうかなどについて調査した。

4 監査の結果

補助金等に係る事業の公益性や補助事業者の適格性などを審査したところ、公益上必要と認められる事業・団体等に支出されており、交付目的や補助金等の対象事業の内容等も明確になっている。

また、関係法令、要綱等への適合性、算定方法の妥当性及び交付時期の適正性及び実績報告の整合性と完了確認、額の確定といった補助金等の決定及び交付に関わる事務についても、概ね適正に処理されている。

事務処理上の軽易な誤りや不備な事項については、その都度関係職員に対して口頭で改善又は検討するよう述べたので、本書への記述を省略する。

監査対象とした補助金等の個別の監査結果については、次のとおりである。

○遠野市企業立地補助金（ムサン電子株式会社、大野ゴム工業株式会社）

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、地域経済の活性化及び雇用の場の確保・拡大を図るため、企業が市内に工場を新設する場合に固定資産投資額の10分の2相当額について岩手県負担分を含めて補助する制度である。この補助金制度を活用し、今までに新規に採用された人数は、新設5社で69人、増設9社で100人と合わせて169人である。

ムサン電子株式会社遠野宮守工場の新設によって、新規に20人が雇用された。また、大野ゴム工業株式会社の遠野工場第二工場の増築では当初計画13人に対し実績では27人が雇用されており、地域経済の活性化に貢献している。

今後は、パート職員から常勤職員への雇用条件の改善や若年労働者の定着のための住環境整備についても検討することを期待したい。

○遠野型観光PR推進委員会負担金

特に問題点は見受けられなかった。

この負担金は、遠野型観光のPRを推進するため、総合的な計画策定、事業の企画・運営、事業実施のための関係団体等の連絡調整を目的に遠野市、一般社団法人遠野市観光協会、遠野商工会、社団法人遠野ふるさと公社及び株式会社遠野で構成された委員会の負担金である。

構成団体のほか遠野ふるさと観光ガイド、遠野観光サポーターもてなし隊、遠野昔話語り部いろり火の会及び株式会社遠野テレビからも委員が選出されており、エージェント訪問等による遠野型観光PR活動、観光PRうちわ等イベントPRグッズの製作、郷土芸能等による遠野型おもてなし作戦、粉んなもんグランプリの開催等の遠野型郷土食の再発見等の事業を実施している。

今年のゴールデンウィークの岩手県内への観光客の入り込み数は、前年度比11パーセント増であり、延べ100万人を超えたと報道されたが、遠野市の観光客数が未だ回復していないことから、関係機関・団体の連携をより密にし、遠野市の豊富な観光資源、人情、風物等をインターネット等で積極的に情報発信し、誘客の増加を期待したい。また、秋以降にはJR釜石線に蒸気機関車が運行されることから、遠野の魅力を伝える機会をとらえて的確にPRすることを望むとともに、今年4月に一般社団法人化した遠野市観光協会の充実・強化についても期待したい。

○で・くらす遠野サポート市民会議負担金

特に問題点は見受けられなかった。

この負担金は、遠野の魅力を高め、地域の活性化に結びつけるため、物産、景観、食事、文化など全般にわたる遠野ブランドの推進と定住人口の拡大を図ることを目的とした「で・くらす遠野サポート市民会議」の負担金であり、構成団体は遠野市、遠野商工会、職業訓練法人遠野職業訓練協会、一般社団法人遠野市観光協会及び社団法人遠野ふるさと公社である。

「で・くらす遠野」市民制度は、年会費が1,000円、5,000円及び10,000円の3コースがあり、会員数は47都道府県に1,527人である。また、平成18年度以降に「で・くらす遠野」を利用して遠野市に移住したのは43世帯89人である。

定住人口の拡大、地域活性化の目標達成には、「遠野で暮らす魅力」をいかに伝

えるかが大事であり、それを誰に伝えるかを絞り込む必要があると考える。例えば、45歳未満の遠野で就農を希望している方には、遠野市青年就農給付金の担当課でありアドバイザーも配置している農家支援室との連携が有効だと思われる。

事業が多岐にわたるため、連携交流課のみの体制では限界があると思われることから関係機関・団体との連携を密にし、市民への呼びかけや業者を巻き込んだの空家、遊休農地を含めた土地等の情報収集など、ホームページの情報量を増やすとともに遠野の魅力が伝わる情報発信を常に心がけ、移住後のフォローアップを含めたワンストップ窓口機能の強化を期待したい。

また、遠野市を拠点として活動している沿岸被災地支援ボランティアや市民との交流を重ねているボランティア団体にも「で・くらす遠野」市民制度の周知を図り、遠野ファンを増やす取組みについても検討願いたい。

○遠野市社会福祉法人事業費補助金（社会福祉法人とおの松寿会）

特に問題点は見受けられなかった。

遠野市社会福祉法人の助成に関する条例等に基づき、遠野地方農業協同組合（現花巻農業協同組合）が社会福祉法人とおの松寿会に対して特別老人ホーム「遠野長寿の郷」の整備事業費を貸し付ける際に、遠野市が償還元金及び利息にかかる債務について、平成13年7月30日に締結した債務負担契約書のとおり履行するための補助金である。当初は平成24年度分の元利償還金30,589,460円であったが、平成28年度分までの債務を繰上償還するため132,089,460円を交付した。この繰上償還により支払利息が2,620,763円軽減された。

繰上償還も加わり交付額は大きいですが、係数に誤りはなかった。経営の基本理念、あるいはミッションステートメント（行動指針・方針）が職員一人ひとりにどのように徹底されているか。それを一法人としてではなく、遠野市における高齢者福祉全体の課題としてとらえ、確認することが今後の展開を考えるうえで必要と思われた。福祉施設の指導と監査が県から市に移管されたことから、今後期待したい。

○遠野市社会福祉法人事業費補助金（社会福祉法人ともり会）

特に問題点は見受けられなかった。

遠野市社会福祉法人の助成に関する条例等に基づき、花巻農業協同組合が社会福祉法人ともり会の特別養護老人ホーム増築工事建設資金として貸付けした資金について、平成23年9月26日に締結した債務負担契約書に基づき、遠野市が償還元金及び利息にかかる債務について補助金を交付するものである。平成38年度までの債務を繰上償還するため、110,384,286円を交付し、10,557,540円の支払利息の軽減が図られた。

交付金の係数に誤りはなかった。待機者については、市内居住者を優先的に入所させるよう希望する。

「子育てするなら遠野市」、「定年退職後の第二の人生をおくるのも遠野市」として、住みよい遠野市を「で・くらす遠野」と連携してインターネット等で情報発信する取組みについて、検討を期待したい。

○遠野市私立幼稚園運営費補助金（学校法人東北カトリック学園光の園幼稚園）

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野市私立幼稚園運営費補助金交付要綱に基づき、私立幼稚園の運営に要する経費のうち、園児の健全育成及び教育環境の充実に要する経費に対し、補助金を交付するものである。運動会、クリスマス会等の園行事、昼寝用和室等の修繕工事及び野菜づくり用畑等の借地料の補助金として、527,500円が交付された。

幼児教育振興のための政策のひとつであることから、年度ごとの補助金の枠内で完結させることなく、将来に向けた流れの中でその年を分析することを期待したい。

○遠野市私立幼稚園運営費補助金(学校法人岩手キリスト教学園遠野聖光幼稚園)

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野市私立幼稚園運営費補助金交付要綱に基づき、私立幼稚園の運営に要する経費のうち、園児の健全育成及び教育環境の充実に要する経費に対し、補助金を交付するものである。園所有バスの塗装工事及びAEDを設置しての園児の安全対策事業の補助金として、505,000円が交付された。

AEDを設置し、遠野消防署の救急救命講習会を実施しているが、例えば救急救命講習会が毎年継続して行われているかなど、設備がより有効に活用されるような助言も期待したい。

○岩手中部広域行政組合負担金

特に問題点は見受けられなかった。

花巻市、北上市、遠野市及び西和賀町で構成する岩手中部広域行政組合(管理者北上市長)が、構成市町内の一般廃棄物処理計画の策定、一般廃棄物処理施設の設置、管理及び運営、一般廃棄物の中継運搬に関する事務を共同で処理するための負担金である。負担金の内訳は、総務費負担金、建設費負担金及び公債費負担金であり、その計算は均等割、2010年の国勢調査に基づく人口割、平成22年ごみ処理実績に基づく処理割合によって算出されていた。

(仮称)岩手中部広域クリーンセンターは、平成27年10月の供用開始を目指し、7月3日に起工式が行われた。また、遠野地区に設置されるサテライトセンターの供用開始も平成27年10月の予定である。

負担金の計算に誤りはなかった。負担金の額に大きく影響するごみの減量について、他の部署との連携を図りながら市民意識の啓発、PRにも取り組んでいただきたい。

○遠野市青年就農給付金

特に問題点は見受けられなかった。

この給付金は、遠野市青年就農給付金交付要綱等に基づき、原則45歳未満の青年が新規に就農した直後の所得を確保することにより就農の意欲を喚起し、及び就農した後の定着を促し、青年の就農者数の増大を図るために国の補助制度に基づき、個人経営者に年間150万円、夫婦経営者に225万円、複数の新規就農者による農業法人設立の場合は150万円を給付しているものである。

平成24年度において8経営体に13,875,000円を給付したが、8経営体の内訳は4経営体が夫婦、個人経営体も4経営体であった。また、アイターンが3、親元の農業を継続が2、親元からの独立が3経営体であるが、年度途中で親元の畜産を継続した個人一人が離農した。農業法人については、現在、設立に向けて取り組んでい

る状況である。

市外から転入の夫婦1組、市内の就農青年1人を中心に監査を実施したが、地域農業マスタープランに中心となる経営体と位置づけられることが要件となっており、地域活性化アドバイザー、農業活性化アドバイザー、新規就農対策アドバイザー及び担い手支援コーディネーターが巡回して相談・支援業務を行っている。

「で・くらす遠野」とのより密接な連携、インターネットを通じての「遠野の魅力」の情報発信に加え、就農希望者に対する農地の確保、住居の確保、生産技術指導、生産物の販路拡大等きめ細やかな指導を期待する。また、新規就農者の交流、意見交換の機会についても検討を期待したい。

○遠野市国土保全森林対策事業費補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野市国土保全森林対策事業費補助金交付要綱等に基づき、総合的かつ集中的な森林整備を促進するため、除間伐、人工造林、下刈り、枝打ちなどに対する国・県の森林整備事業費補助金の嵩上げを行うとともに、国・県の補助に該当しない間伐に対しても市独自の補助金を交付することによって、森林資源の質の向上を図ることを目的としている。

具体的には、除間伐、人工造林等に対する国・県の補助率は68%であるが、22%の嵩上げをして90%の補助金を交付しているほか、森林経営計画未策定のため国・県の補助に該当しない間伐に対しても間伐率に応じた補助金を交付している。また、遠野地域木材総合供給モデル基地内の遠野地方森林組合貯木場に搬入される間伐材1立方メートルにつき1,800円の補助金を交付している。いずれも事業主体は遠野地方森林組合である。

遠野市農林水産振興ビジョン、遠野市森林整備計画等に基づき計画的に取り組んでおり評価したい。

林業を取り巻く厳しい環境を打破し、遠野木工団地の高い技術、性能、体制等を生かす「場」の創造のため、今までの林業の範疇を超えられるような部門も含めた「横の連携」による木材の消費拡大に期待したい。

○宮守地域農業拠点施設整備事業費補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、宮守地域の農業振興と地域活性化を図るため、遠野市と花巻農業協同組合が土地を等価交換し、宮守総合センター跡地に花巻農業協同組合宮守支店を移転新築し、その二階に集会施設として「宮守地域農業振興拠点施設」を整備する経費の2分の1以内の額(上限額2,500万円)を補助金として交付し、農業関係手続きのワンストップ化を図ることによって農家の利便性を向上させること等を目的としている。

平成24年10月1日に遠野市と花巻農業協同組合が締結した補助金交付契約書に基づき事業が進められており、地域づくりや農業振興の活動拠点として利用されていることから事業の効果はあったと認められる。

今後は、花巻農業協同組合からの一層の協力により地域活性化につながる活用の検討を期待したい。

○遠野地方病害虫防除推進協議会負担金

特に問題点は見受けられなかった。

この負担金は、遠野地方の円滑な病害虫の防除を推進するために設立された遠野地方病害虫防除推進協議会（会長は遠野市長、事務局は東南部農業共済組合）が行う産業用無人ヘリコプターによる広域共同病害虫防除等を推進するための負担金である。

保有する3機の産業用無人ヘリコプターによるいもち病とカメムシの防除に対し助成をしているほか、共同で行う地上での一斉防除に対しても助成を行うなど防除効率が高く労力の軽減につながる防除を推進している。また、病害虫の被害の未然防止を図るため、関係機関・団体等と連携して病害虫の発生状況を調査している。

高品質良質米の安定生産を図り、安定した収入を確保するために必要な事業と認める。

○遠野市利用自粛牧草等処理円滑化事業費補助金（社団法人遠野畜産振興公社、花巻農業協同組合、岩手中央酪農業協同組合等）

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、東京電力株式会社の原子力発電所事故に伴う放射性物質の影響により、放射性セシウムの濃度が暫定許容値を超えたため利用自粛となった公共牧場等の除染を促進するため、除染前の牧草の処理に要した経費に対し10分の10の助成を行うものである。

各農業団体で取りまとめて事業を実施しているほか、地属主義の補助金であるため、遠野市に牧草地を所有する市外在住の個人が1人該当している。

放射能汚染により利用できなくなった公共牧場等の除染を促進するために適正に実施されていた。また、事業の実施により放射性セシウム濃度が暫定許容値内にとどまっていることから事業の効果があつたと認める。

ただし、事業の進捗状況は10%程度であり、表土が浅い耕起困難牧草地の除染対策も確定していないことから、畜産農家の方々が安心して作業ができるように早期の処理円滑化を期待したい。

○岩手県農山村漁村地域自主戦略交付金事業費補助金（社団法人岩手県農業公社）

特に問題点は見受けられなかった。

この事業は、平成23年12月13日に遠野市と社団法人岩手県農業公社が締結した補助金交付契約書に基づき、公共牧場の牧場間の機能分担を図り、草地の生産性と利用率の向上を目指して公共牧場の再編成整備を行い、農家作業の外部委託化を促進し、飼育規模の拡大と経営合理化支援を目的とした事業である。

附馬牛町の石羽根地区と大野平地区にキャトルセンターの設置を目指していたが、平成23年度は事業拡大に伴う繰越明許をした。また、平成24年度は東京電力株式会社の原子力発電所事故に伴う公共牧場等の利用自粛や沿岸被災地の復旧工事等による人手不足などから工事に遅れがでたため、事故繰越を行っている。

この事業に合わせた市単独事業で、6次産業として「いわて遠野牛」の肥育、農産加工及び販売も行う計画となっている。

生産性の高い大規模畜産業の実現、あるいは経営合理化支援を目的とした公共牧

場再編整備事業は、キャトルセンター建設を核として着々と進められており、その成果を大いに期待したい。

○遠野市災害被災住宅復旧工事補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は市単独事業であり、東日本大震災及びその余震で損壊した住宅に居住する所有者が被災箇所の復旧工事を行う場合、または居住していた住宅が全壊等により居住できなくなったため、新たに中古住宅を購入して補修工事を行う場合に10万円以上の工事に対し10分の1に相当する額について、10万円を上限として補助金を交付するものである。

54人に対し2,761,000円の補助金を交付していたが、次の遠野市生活再建住宅支援事業補助金も交付をしていた2人を中心に監査を実施した。

県の制度ができる前にいち早く市単独で立ち上げた制度であり評価できる。平成25年度で事業が終了する予定だが、終了後は快適住マイル応援事業での対応となる。

○遠野市生活再建住宅支援事業補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、岩手県の生活再建住宅支援事業補助金交付要綱に基づき東日本大震災で被災した住宅、宅地の早期復興を支援するために罹災証明により住宅新築に係る補助、住宅融資利子に係る補給、住宅の補修、改修等についての補助金を交付するもので、88人に対し26,812,000円の補助金交付があった。

市単独の災害被災住宅復旧工事補助金とあわせて、多くの市民が利用しており一定の効果があつたと認められるものの、平成25年度で終了する予定である。

○遠野市体育協会補助金

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野市体育協会補助金交付要綱に基づき市内各町単位協会及び各種目別協会で組織する遠野市体育協会が主催する各種体育事業に要する経費、各種体育大会への参加に要する経費、事務局職員の給与等に対する補助金である。

種目別協会が主管する各種市民大会の運営費、遠野じんぎすかんマラソン、サッカーカーニバル、剣道練成会等のスポーツイベント助成、全日本軟式野球大会2部、全国ビーチサッカー大会東北大会、岩手県民体育大会等の選手派遣費等に適正に支出されていた。

市内スポーツの振興を図るためには、各種目別協会の会員数、各種体育事業の参加者数、各夜間照明施設の利用日数及び利用者数、各体育施設の利用日数及び利用者数などの基礎データを収集し、スポーツ人口と活動内容を分析して今後のスポーツ振興策を策定することが必要であり、関係機関・団体との連携による数値目標での計画推進を期待したい。

○遠野市立中学校閉校記念事業運営費補助金（遠野中学校閉校記念事業実行委員会）

特に問題点は見受けられなかった。

この補助金は、遠野市立中学校の再編成により閉校する市内中学校8校の閉校記念事業に対する補助金であり、遠野市立中学校閉校記念事業運営費補助金交付

要綱に基づき適正に執行されていた。

遠野中学校学区では、PTA会長を委員長とするPTA会員と教職員による実行委員会が組織され、「民話のふるさと遠野大使」の船越由佳さんのコンサート形式の講演会の開催、記念式典・思い出を語る会の開催、閉校記念誌の発行、記念品(文鎮)の作成・配付が適正に行われたことを確認した。

○遠野市立中学校閉校記念事業運営費補助金(宮守中学校閉校記念事業実行委員会)

特に問題点は見受けられなかった。

宮守中学校学区では、宮守町地域づくり連絡会、PTA会員、教職員、学区内各小学校長で実行委員会を組織し、宮守中学校の石碑の移動、記念誌・記念品の作成及び配付、閉校記念式典・思い出を語る会の開催など、地域が一体となって閉校記念事業を盛り上げており、事務執行も適正であると認める。

今後の新設各中学校のより一層の躍進と中学生の活躍に期待したい。